

# 医療制度改革の大綱

# (高齢者、弱者に傷み)



## 1 増えつつける医療費を支えきれない

### イ) 国民健康保険

年度	平成14年	平成15年	平成16年
加入者	12,496	13,035	13,548
保険給付費	16億9千万円	19億1千万円	21億6千万円

定年・退職、無職の加入者が増えつつき、保険給付費も毎年2億円ずつ増える。

### ロ) 老人保健(75歳以上)

年度	平成14年	平成15年	平成16年
老人医療対象	3,822	3,702	3,601
医療費	32億8千万円	33億1千万円	35億5千万円

経過措置で対象者は減少するも医療費は急増し、平成16年は前年費2億円以上も増える。

### ハ) 一般会計から国保、老保への繰入金

年度	平成14年	平成15年	平成16年
国保への繰入金	4億0千万円	4億8千万円	5億7千万円
老保への繰入金	2億2千万円	2億5千万円	2億9千万円
繰入金計	6億2千万円	7億3千万円	8億6千万円

※繰入金とは～

国保、老保に一般会計から資金の繰入れを行い補填するもの。

毎年の繰入金は1億円ずつ増えて平成17年の一般会計からの繰入は1割を越す負担は限界。

## 2 自分の健康は自分で守る

### イ) 早めの診断、早めの治療

遅れば遅れるほど治療費はかさむ

### ロ) 治療重点から健康づくりへ

1人1人健康づくりの目標をもつ 目標→実行→継続

### ハ) 困ったら迷わず役場に相談(無保険者)

手遅れにならぬよう、早めの相談、早めの治療



## 3 医療制度改革へ(どう変わる)

### ◎ 現行の窓口負担は

0才～3才未	3才～70歳未満	70才以上
2割	3割	一般 1割

### ◎ 06年10月から窓口負担は

0才～3才未	3才～70歳未満	70才以上
2割	3割	一般 1割 現役なみ(所得) 2割

- ① 70才以上は現役なみへ、2割から3割へ
- ② 現役なみの水準引下げへ、夫婦年収621万円から520万円へ
- ③ 70才以上長期入院の食住費の加算(【例】6.4万円から9.6万円へアップ)
- ④ 高額医療費自己負担上限の引上げ
- ⑤ 障害者の福祉サービス06年4月から1割負担へ。
- ⑥ 出産一時金30万円から35万円へアップ
- ⑦ 診療報酬の引き下げへ

### ◎ 08年度から窓口負担は

0才～就学前	就学後～70歳未満	70才～74才	75才以上
2割	3割	一般 2割	一般 1割
		現役なみ(所得) 3割	

- ① 0才から就学前まで、2割へ
- ② 70才～74才、1割から2割へ